

＊ゆきよし通信＊

令和2年1月1日 No. 24

「口腔機能」について？〈全3回〉

第3回 「口腔機能と全身の関係」

「食事」と「からだ」と「口腔」!?



「昔は硬い肉や漬物、野菜をバリバリ食べてたのに・・・
最近はやわらかい物しか食べてないなあ」

硬いものが食べにくい原因に口腔機能の低下が関係しています。「口腔機能の低下」は握力や歩行能力などと密接な関係であるといわれています。食事の内容がやわらかい物や食べやすいものに偏ってきたと感じている人は要注意ですよ。

ゆきよし短時間通所リハでの取り組み

口腔機能への取り組みは早い方がより効果を出すことができます。今回は早期に支援を行った事例を紹介します。



食事の時むせて困ります。
また、とっさの時に声が出てこないんです。

Aさんの場合

支援：①言語聴覚士による評価 ②全身運動
③摂食嚥下機能訓練 ④発話訓練
⑤食事内容の助言

結果：むせもほとんどなくなり旅行に出かけ食事を楽しむ事ができるようになりました。普段は、公共交通機関を利用し古町を散策し外食を楽しんでいます。

実際の支援（例） ※通所内では状態に合わせた支援を行っています。

・綿棒を使った運動（咀嚼の巧緻性を促します）

- ①綿棒を1～2本用意します。
 - ②綿棒1本をくわえます。
 - ③手を使わず奥歯から奥歯に移動させましょう
- ※十分注意が必要です。一人で運動できない場合は行わないでください。

・食事内容を見直しましょう

ご自身の食べている物が食べやすいものになっていないか確認しましょう。
通所リハでは食べれそうな食品を提示して食べてもらうように促しています。

体の声を聴き逃していませんか？「食事」「からだ」「口腔」を見直してみましょう。まずは職員に相談！



ゆきよしクリニック 短時間通所リハビリ TEL：025-382-3845